

関連するSDGs



# S 安全衛生の確保

**基本的な考え方** 全ての従業員が健康で安心して働くことができる職場づくりを目指し、「安全衛生方針」を掲げ労使一体となって活動しています。特に死亡などの重大災害は本人や家族、会社にとって取り返しのつかないことであり、絶対に発生させないという考えのもとに重点活動項目を設定しています。

また、協力会社も含め全ての従業員に対し安全衛生教育や相互注意を行い、ルールを守ることの大切さを認識させ、安全で働きやすい職場環境づくりに継続的に取り組むことで労働災害発生防止につなげています。

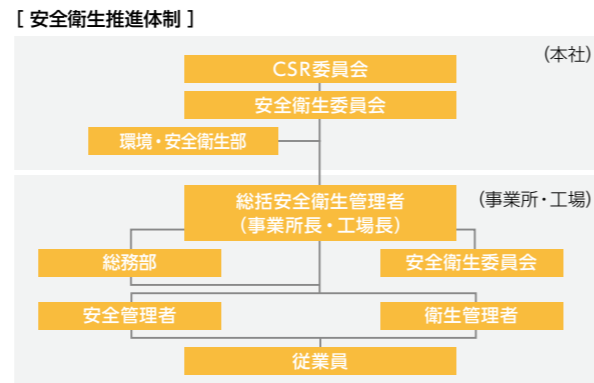
## 2020年度 安全衛生方針

- |                    |   |                  |  |
|--------------------|---|------------------|--|
| <b>1. 安全衛生基本方針</b> | 働く人達の健康と安全の確保は会社経営の基盤であるとの理念のもとに、労使が協力して安全衛生最優先の職場風土を醸成するとともに、職場に潜在する危険、有害要因を排除し、労働災害を撲滅して健康で安全な職場をつくる。 | <b>4. スローガン</b>  | 「注意する厳しい言葉は思いやり<br>みんなで作ろう安全職場」  |
| <b>2. 目標</b>       | 「災害の撲滅」   | <b>5. 重点活動項目</b> | 「重大災害 <sup>*1</sup> の撲滅」に向けて労働安全衛生マネジメントシステムを運用し、重大危険源 <sup>*2</sup> での災害発生防止につながるリスクの情報共有を図るとともにリスクの除去と低減を推進する。 |
| <b>3. 安全魂</b>      | 「油断大敵」  |                  |  |

※1 重大災害：死亡、植物状態、両目失明や手足の切断などで被災者の本来業務ができない、あるいは大きく制限されるような重度の災害  
 ※2 重大危険源：重大災害につながる作業や危険箇所

## 安全衛生推進体制

従業員の労働災害、健康障害を未然に防止するため、労働組合と協力して実効性のある安全衛生活動を推進することを目的とし、全社を統括する「安全衛生委員会」を本社に、その傘下には事業所・工場の「安全衛生委員会」を設置しています。各事業所・工場の安全衛生委員会は、全社方針や施策に沿った具体的な活動方針と活動計画を決めるとともに、年1回は各事業所・工場の安全衛生パトロールや監査を実施して安全衛生レベルの向上を図っています。



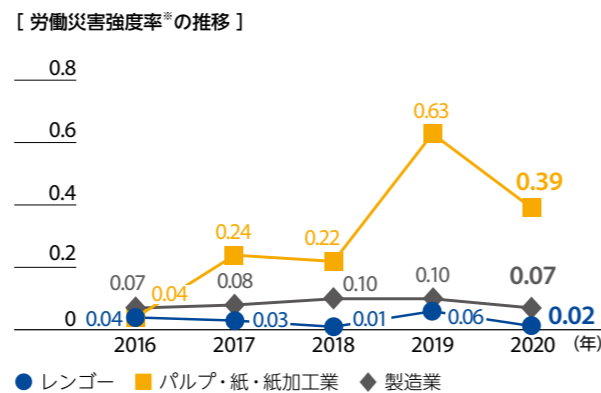
## 労働災害発生状況

各事業所・工場では「災害の撲滅」を目標に安全衛生活動計画を立てて取り組んでいます。2020年は休業災害件数は6件となり2019年から7件減少しました。労働災害強度率はパルプ・紙・紙加工業や製造業の平均より低い値で推移しており、0.02に改善しました。災害ゼロを目指し、リスクの除去・低減と安全意識の向上に継続的に取り組むため、労使が協力し合い安全衛生活動を推進しています。

【休業災害<sup>\*</sup>件数】 (件)

	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
休業災害件数	8	7	5	13	6

※ 休業災害：業務に起因して受けた負傷により翌日から1日以上休んだ災害



出所：厚生労働省「労働災害動向調査」  
 ※ 強度率：災害の程度の軽重を表す指標で、1,000延べ実労働時間当たりの労働損失日数

## 安全衛生パトロール

事業所・工場およびグループ会社の安全担当者がパトローラーとなり、年に1回全ての事業所・工場をパトロールし、客観的な視点で確認することで潜在的なリスクを発見し職場の改善につなげています。2020年度は、新型コロナウイルス感染症予防対策として、複数回に分けての実施や、パトローラーを近隣工場勤務者に絞ったりするなどの対応に加え、結果報告や意見交換にはテレビ会議やWebカメラを活用するなど工夫して実施しました。また、改善事例・取組みを水平展開して安全衛生レベルの向上を図っています。



安全衛生パトロールの様子

## 熱中症対策

新型コロナウイルス感染症予防対策としてのマスク着用は、作業現場での熱中症の発生リスクを高めます。そこで、暑さ対策設備の計画的な導入に加えて、空調服などの熱中症対策グッズについても安全性や効果を確認し採用しました。他にも接触冷感マスクの活用や水分・塩分補給、体調確認など作業員自身でできる対策を徹底することで、熱中症対策を強化しました。

感染症予防対策においては熱中症対策を盛り込んだルールづくりも行い、作業員同士が2メートル以上の距離を確保できる場合はマスクを外しての作業を可能とすることで、熱中症による休業災害を発生させることなく作業を行うことができました。



空調服着用者の作業の様子

## VOICE RSTトレーナーによる安全衛生教育活動



レンゴー株式会社  
 利根川事業所 製紙工場  
 加工部加工課 主任  
 青柳 実

利根川事業所製紙工場の加工部は、「ガストルデ」や「ダンブルーフ」などの機能紙、2~3枚の紙を貼り合わせた合紙、紙にポリエチレンをコーティングしたPEコート紙などを製造しており、他の製紙工場や段ボール工場、紙器工場とは異なる生産設備を有していることが特徴です。安全については他工場の設備的な対策を参考にし、可能な限り取り入れることで、より安全な作業現場になるよう対策してきました。また、RSTトレーナー<sup>\*</sup>として、安全衛生教育会の場を活用し、他工場の災害実例を取り上げることで、類似災害防止に努めています。特に、新入社員には危険予知の向上のために指導・アドバイスを行うことで工場全体で安全意識を向上させ安全な作業実施に努めています。



安全教育の様子

※ RSTトレーナー：労働省（現：厚生労働省）の通達に基づいた職長・現場監督等に対する安全衛生教育を担当するトレーナー養成講座を終了した者